

# 2023年12月期 3Q 決算説明資料

東証スタンダード 2597

**株式会社ユニカフェ**

2023年1月1日~2023年9月30日



# 決算の概況

## ～連結～

顧客志向を原点とした提案型の営業に注力し、売上高、営業利益ともに前年同期を上回る。

売上高

9,106百万円

前年同期比(増減)

+18.8% (+1,441百万円)

営業利益

275百万円

前年同期実績

△47百万円

取扱数量

25,024トン

前年同期比(増減)

+11.1% (+2,492トン)

(百万円)

	2022年12月期 3Q (2022年1月1日~2022年9月30日)		2023年12月期 3Q (2023年1月1日~2023年9月30日)	
	(連結)	(対売上高比)	(連結)	(対売上高比)
売上高	7,665	100%	9,106	100%
営業利益	△47	△0.6%	275	3.0%
経常利益	△44	△0.6%	275	3.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	△170	△2.2%	306	3.4%
E B I T D A	360	4.7%	583	6.4%
R O E	△2.8%		5.2%	

(百万円)

2023年12月期 3Q (2023年1月1日～9月30日)								
	(当社)	対売上高 比	(アート コーヒー)	対売上高 比	(連結調整)	(連結)	対売上高 比	
売上高	7,520	100%	2,846	100%	△1,259	9,106	100%	
営業利益	189	2.5%	29	1.0%	56	275	3.0%	
経常利益	243	3.2%	31	1.1%	0	275	3.0%	
当期純利益及び 親会社株主に帰属する 四半期純利益	161	2.2%	141	5.0%	2	306	3.4%	

自己資本比率は前連結会計年度末比1.4%p上昇し43.2%

(百万円)

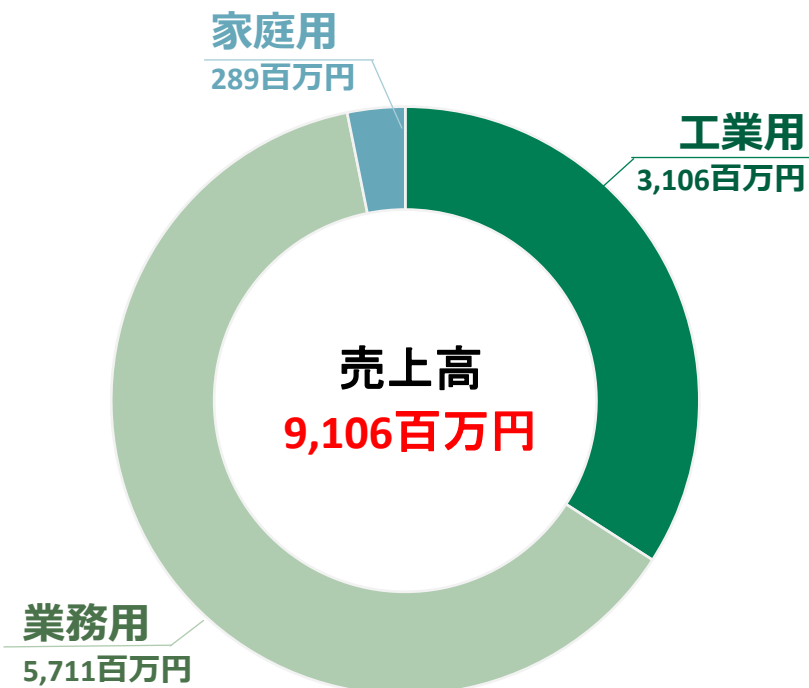
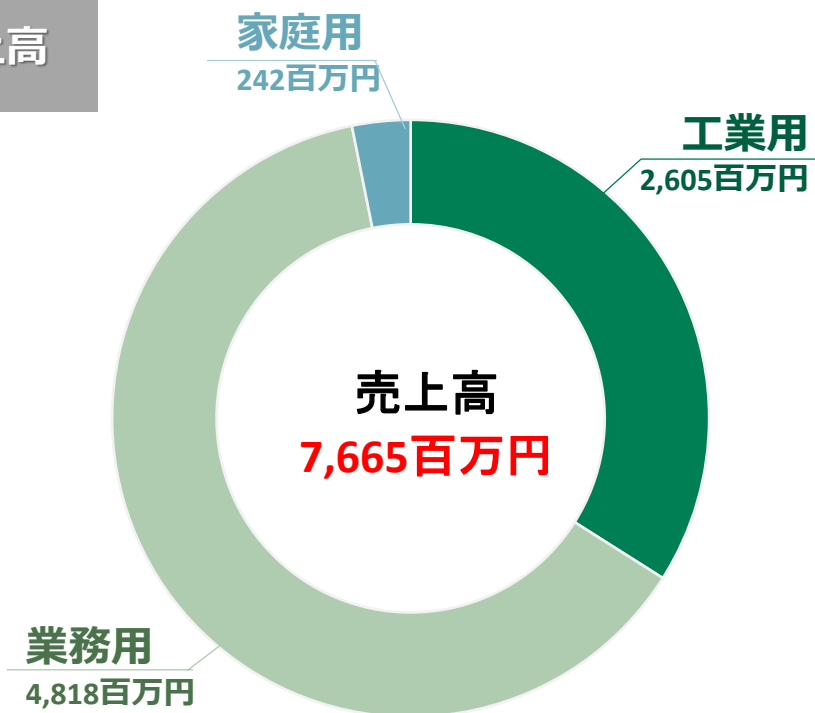
		2022年12月期 (連結)	2023年12月期 3Q (連結)	増減額
資産の部	流動資産	8,267	8,224	△43
	固定資産	5,647	5,737	90
	<b>資産合計</b>	13,914	13,961	47
負債の部	流動負債	5,234	5,724	490
	固定負債	2,862	2,210	△651
	<b>負債合計</b>	8,096	7,935	△161
純資産の部	株主資本	5,817	6,024	206
	評価・換算差額等合計	△0	1	1
	<b>純資産合計</b>	5,817	6,026	208
<b>負債純資産合計</b>		13,914	13,961	47
自己資本比率		41.8%	43.2%	1.4%p

工業用・業務用・家庭用すべての分野において前年同期を上回る。

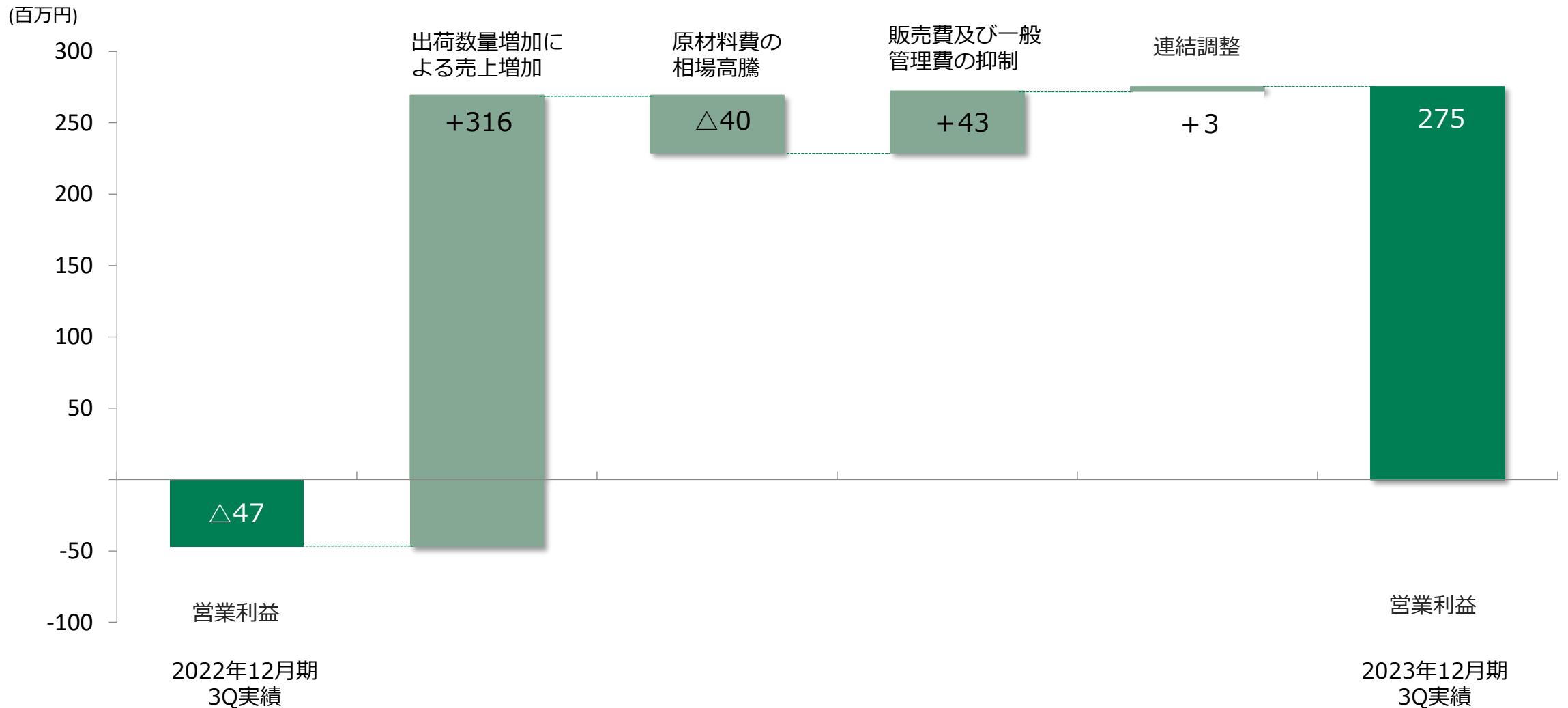
2022年12月期 3Q 連結 (2022年1月1日～9月30日)

2023年12月期 3Q 連結 (2023年1月1日～9月30日)

売上高



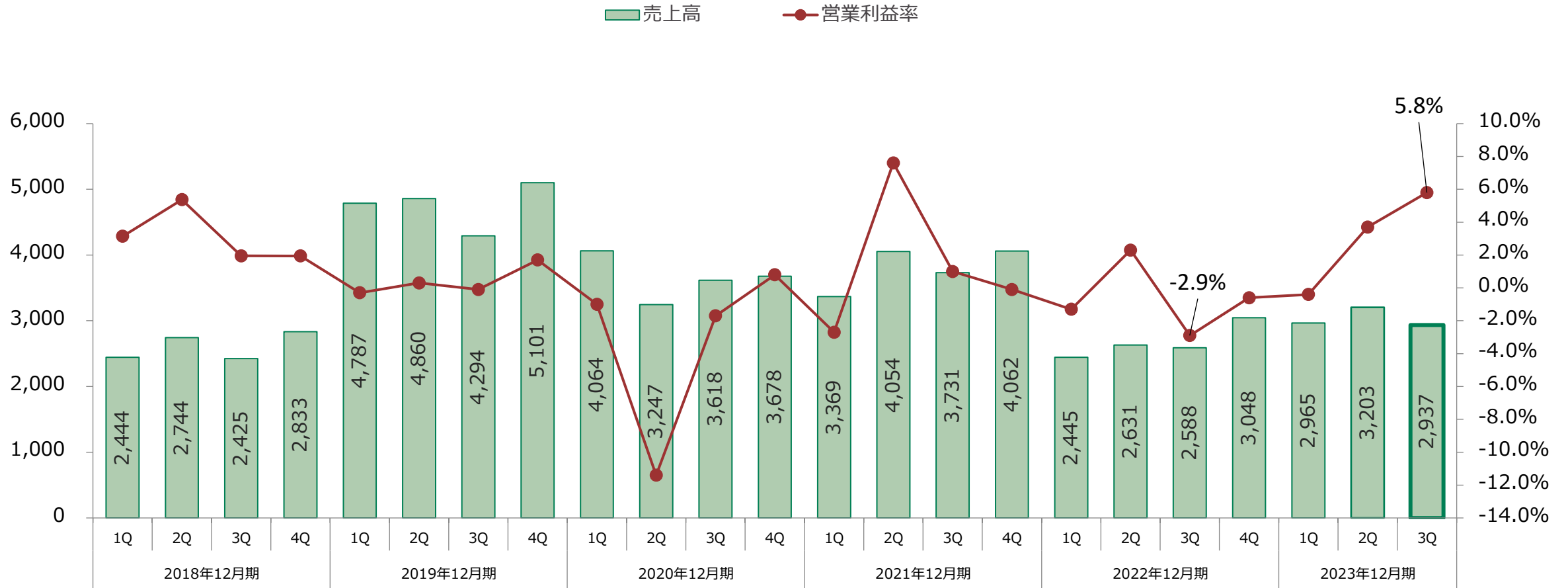
## 当第3四半期連結累計期間の営業利益 275百万円





# 主な指標

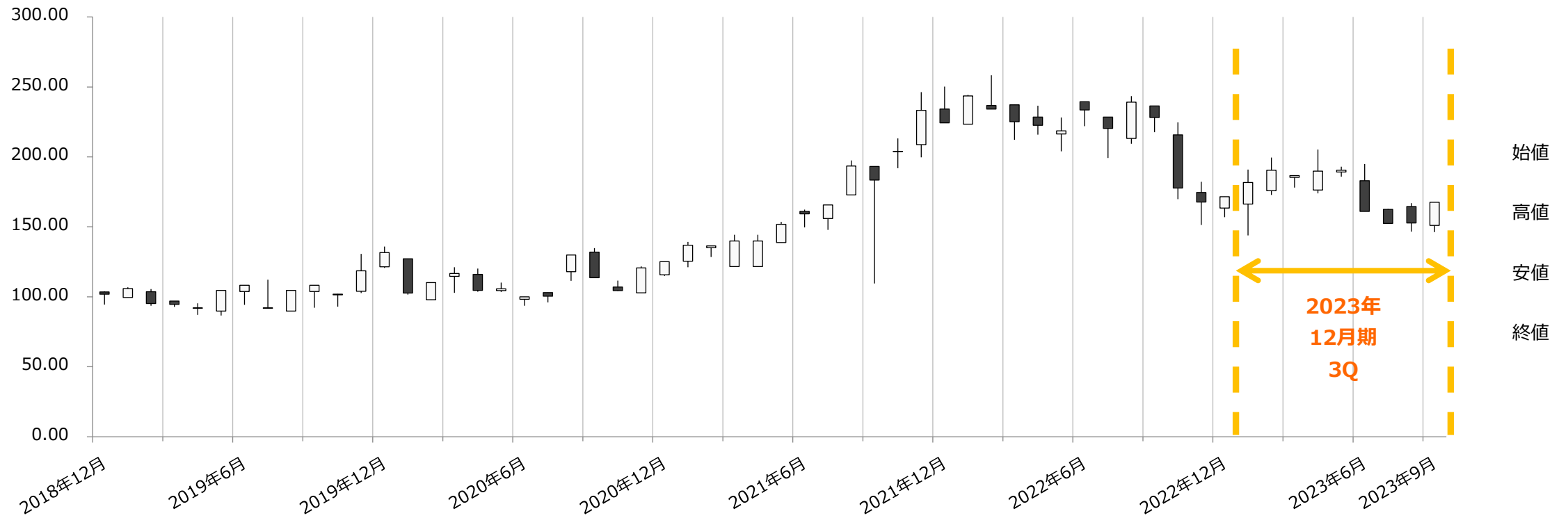
# 四半期業績の推移



※1. 2019年12月期より連結決算となっております。  
 ※2. 2022年12月期の期首より収益認識会計基準を適用しております。

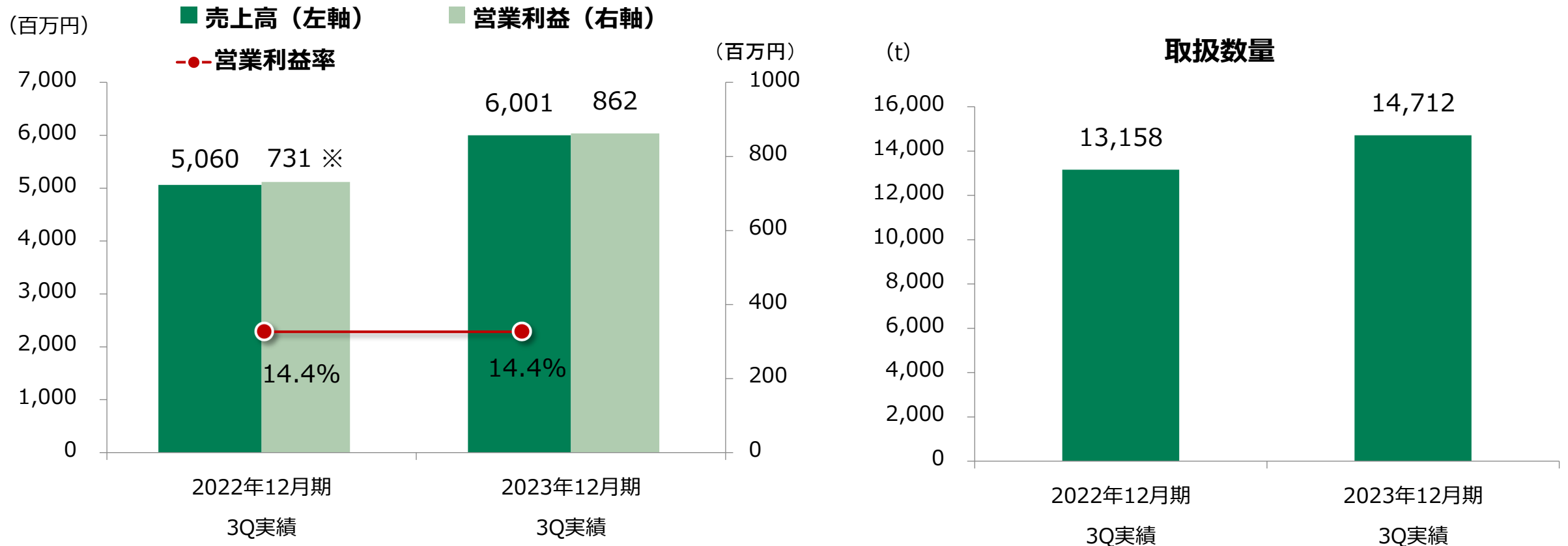
## 相場水準は今後も高値水準が継続する見通し

(¢/ポンド)



# チャネル別の業績（業務用）

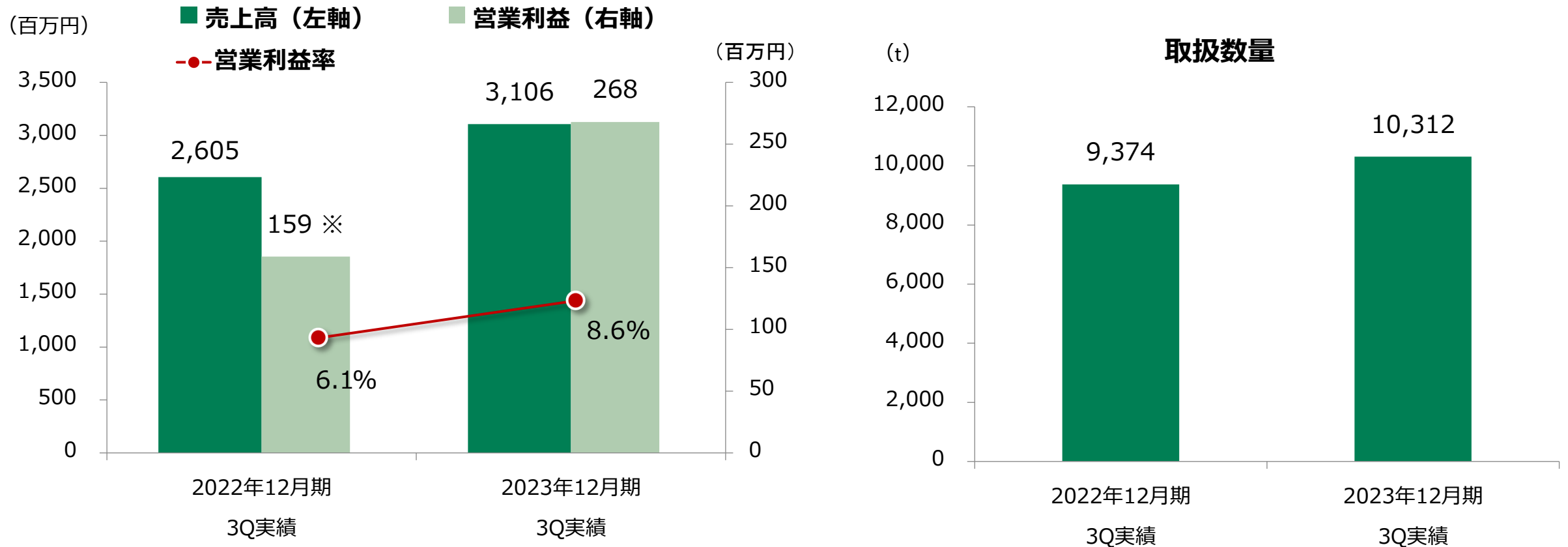
活動制限の緩和による外食需要の回復により、売上高、取扱数量ともに昨年を上回る。



※当期において原価の配賦基準を一部変更したため、前期の数値についても当期に合わせて表示しております。

## チャネル別の業績（工業用）

主要取引先に対しての提案型営業に注力したことにより、採用アイテムが増加。売上高、取扱数量ともに昨年を上回る。



※当期において原価の配賦基準を一部変更したため、前期の数値についても当期に合わせて表示しております。

# 業績予想

# 2023年12月期連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前年同期比）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
前回発表予想	13,155	22.8	250	—	241	—	292	—	21.85
今回修正予想	12,582	17.4	350	—	348	—	350	—	26.18
（ご参考） 前期実績 2022年12月期	10,713		△66		△84		△190		△14.27

前回通期の連結業績予想を公表した2023年5月15日時点と比較し、コーヒー生豆調達価格が想定より低く推移し、取引先への販売価格も連動した結果、「売上高」は前回公表値を下回る見通しです。

一方、利益面では、コーヒー生豆調達価格が想定よりも低く推移したことに加え、LNGを主としたエネルギー価格等も下振れとなり、「営業利益」、「経常利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」は前回公表値を上回る見通しです。

## • 免責事項

- 本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社の将来の業績と異なる可能性があります。
- なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。
- また、本資料に記載されている当社以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

## • インサイダー取引に関するご注意

- 企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています（金融商品取引法166条）。
- 同法施行令第30条等の定めにより、二つ以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法（TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびEDINET公開WEBサイト）により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。